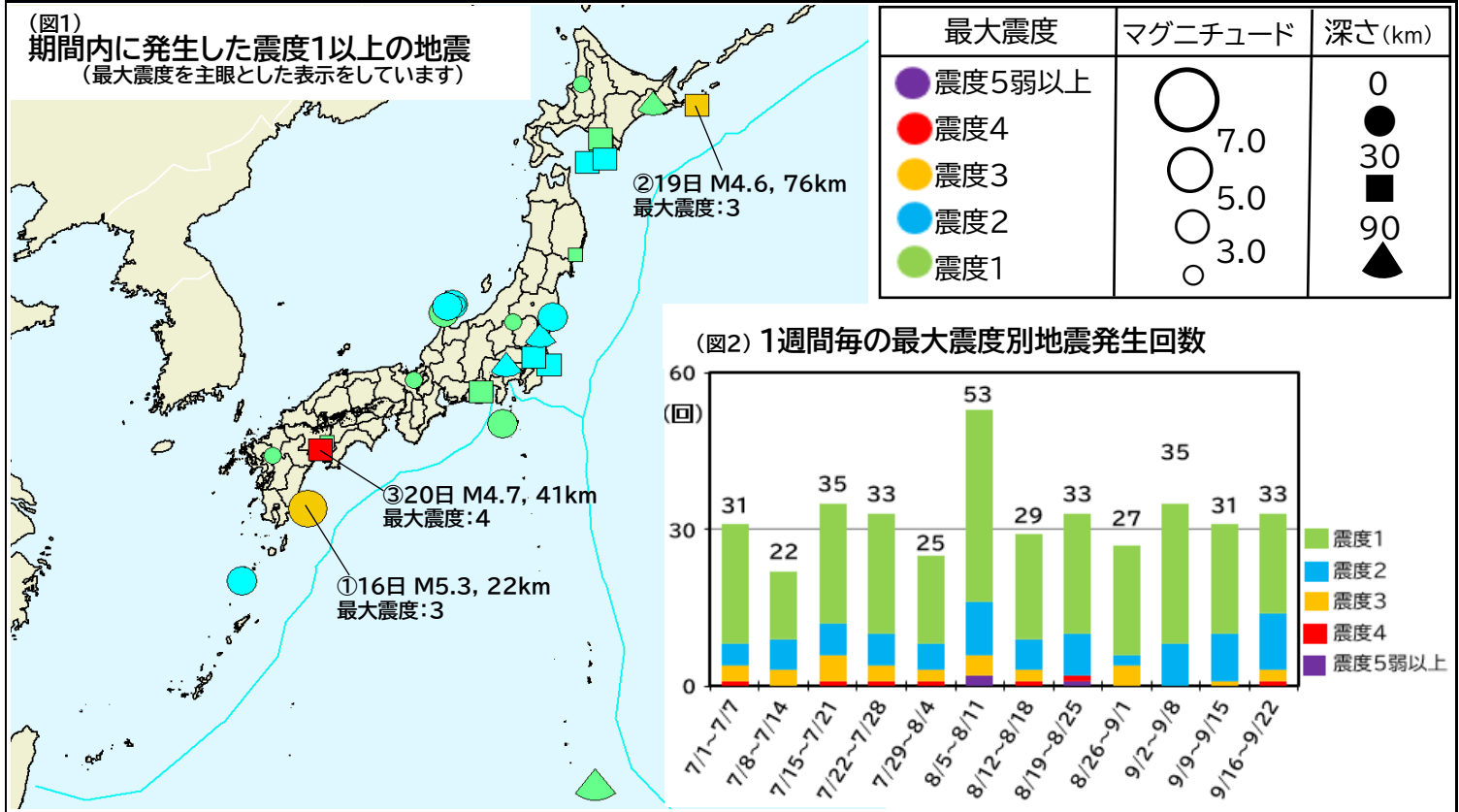


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が33回発生。最大震度は4。 ■
- ① 9月16日23時13分に日向灘で発生した地震(M5.3、深さ22km)により、宮崎県宮崎市・日南市、鹿児島県鹿屋市・大崎町で震度3を観測したほか、九州地方と高知県で震度2~1を観測。
- ② 9月19日05時45分に根室半島南東沖で発生した地震(M4.6、深さ76km)により、北海道根室市で震度3を観測したほか、北海道東部で震度2~1を観測。
- ③ 9月20日21時22分に豊後水道で発生した地震(M4.7、深さ41km)により、愛媛県宇和島市と八幡浜市で震度4を観測したほか、中国地方、四国地方、九州地方で震度3~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

■ 豊後水道の地震活動 ■

- ・20日に豊後水道で発生した地震は、4月17日に愛媛県愛南町と高知県宿毛市で震度6弱を観測した地震(M6.6、深さ39km)の北西約10kmで発生しました(図3)。
- ・メカニズムは、4月17日と同様に、四国地方や九州地方などの陸のプレート(ユーラシアプレート)の下に沈み込むフィリピン海プレート内部で発生した正断層型の地震と推定されます(図4)。
- ・図3の青破線内の1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺では、M5.0以上の地震が時々発生しており、最大規模の地震は4月17日に発生したM6.6の地震です。
- ・今回の地震は、南海トラフ巨大地震の想定震源域内で起きた地震ですが、南海トラフ巨大地震との関連性を調査する基準(Mw6.8以上)より規模が小さかったので、8月8日に発生した日向灘での地震(Mw7.0)によって発表された「南海トラフ巨大地震臨時情報」を発表するか否かを調査するような動きには至りませんでした。

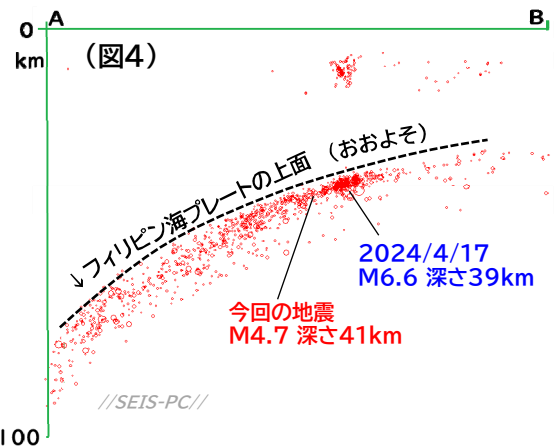
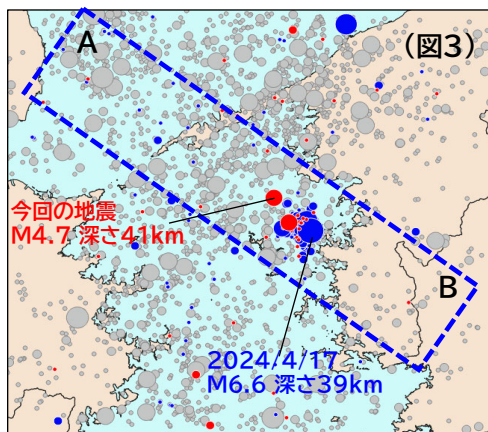


図3: 震央分布図 1997/10/1 --- 2024/9/21 M \geq 2.0
赤丸: 2024/6/1 --- 2024/9/21
青丸: 2024/1/1 --- 2024/5/31 灰丸: 赤丸、灰丸以前に発生した地震

図4: 図3の青破線内の断面図